

臨床研究へのご協力をお願い  
非心臓手術における周術期心血管合併症の実態調査及び、  
術前のリスクアセスメントに関する研究

## 1. 研究の目的および方法

当院では、手術において、合併症は極力少なくするように、各診療科が細心の注意を払っています。

その中で、手術中から術後の死亡の原因として、心血管合併症、特に周術期心筋梗塞（perioperative myocardial infarction; PMI）が多くの割合を占めていると言われていています。そのため、心血管合併症の予防と早期発見が術後の死亡を減少させるために大変重要であると考えています。

そのため、当院では、心血管疾患の併存が疑われるなど、手術に影響する恐れがあると考えられる患者さんは、循環器内科の術前外来を受診できるようになっています。また、周術期の心筋梗塞を早期に発見し、術後の心血管合併症を減らすために、心血管リスクの高い患者さんには、追加の心電図と採血を行っています。

それでも、周術期の合併症をゼロにすることは困難ですが、現在の当院での取り組みの元で、周術期の心血管合併症を把握し直し、術前の評価にもつなげていくことを目的として、本研究を行いたいと考えています。

方法は、当院における45歳以上の全身麻酔手術症例の全例登録を行い、術前の患者さんの状態の登録、および周術期心筋梗塞の発症頻度の調査及び心不全、心血管合併症、死亡の情報を収集します。情報収集は電子カルテ上で行い、患者さんの治療などには影響しませんので、特に負担となることはありません。また、個人の人権擁護に関しても、倫理委員会の承認を得た上、個人情報保護の観点からも最大限配慮します。

## 2. 本研究へのご協力方法について

特にお申し出が無い場合は、本研究の趣旨をご理解いただいたものと判断して研究を進めさせていただきます。

もし、本研究にご同意いただけない場合は、下記に記載した当施設の研究責任者にお申し出ください。 本研究にご同意いただけなくても、これからの治療に差し支えることは全くありません。

2022年10月24日

研究代表者

国立病院機構京都医療センター 循環器内科 石井 充  
連絡先：075-641-9161（代表）